

学校教育課通信

令和8年10月9日（金）第220号
編集・発行：県南教育事務所 羽染 聡

学校事故防止の徹底と不祥事の絶無
～学校教育を支える基盤づくり～
県南教育事務所グランドデザイン

各校の取組や工夫に感謝いたします ～令和8年度 学校運営支援訪問を終えて～

令和8年度学校運営支援訪問が終了しました。実施に際してご対応いただきました該当校の校長先生をはじめとした教職員の皆様、そして、各市町村教育委員会の担当者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。ご理解とご協力ありがとうございました。

また、不祥事根絶プロジェクトに基づく教職員との対話を、昨年度に引き続き実施させていただき、不祥事根絶に対する思いや学校の取り組みを伺うことができ大変参考になりました。ご対応、ありがとうございました。

【令和8年度 訪問校】

白河第二小学校、白河第四小学校、五箇小学校、釜子小学校、米小学校、三神小学校、矢吹小学校、泉崎第一小学校、近津小学校、笹原小学校、白河中央中学校、表郷中学校、大信中学校、川谷中学校、中島中学校、矢祭中学校【全16校】

学校運営支援訪問は、①学校管理運営改善のための支援、②学校施設・設備等の適切な維持管理についての支援を行うことを主な目的として実施しています。

今回の学校運営支援訪問を各学校の管理運営に役立てていただくために、訪問した学校で行われていた工夫の一部を紹介します。

【熱中症予防対策～自己マネジメント力の育成へ～】

今年度もはやい時期から非常に暑い夏となりました。訪問した学校では、熱中症予防対策に工夫した取り組みが見られました。WBGT（暑さ指数）計やその活用方法を掲示することで、児童生徒に自己マネジメント力を意図的に身に付けさせる取り組みをしている学校がありました。



【刃物等の管理～総数の掲示と個数の表示による管理～】

ほとんどの学校で、刃物の総数の掲示と刃物へのナンバリング（個数の表示）が適切にされていました。一部の学校では、刃物等の収納方法の写真を掲示し、片付け方法の見える化が図られていました。



【理科室～適切な廃液の管理～】

理科の化学実験で生じた廃液について、多くの学校では、写真のように液性毎のポリタンクを用意し、廃液が保存されていました。中学校では金属廃液用のポリタンクが用意されている学校もありました。教育委員会と連携し、業者に廃棄を依頼する薬品を明確にしている学校もありました。



【不祥事根絶への取組】

不祥事根絶に向けて、「信頼される学校づくりを職場の力で」や通知・チェックリスト等の活用、「不祥事根絶に向けた行動計画」の共有など各校で確実に対策がなされていました。また、通知や新聞記事を活用した「服務倫理だより」等の発行も多く各学校で見られました。さらに、以下のような工夫された取り組みも多く見ることができました。

- 「盗撮防止ガイドライン」をもとに、点検チェックリストを自校化している学校がありました。また、自校化した点検チェックリストは、定期的に見直しが行われていました。
- 外部講師を活用し、他業種の不祥事根絶に向けた取り組みを研修する学校がありました。

【諸表簿閲覧より】

学校運営支援訪問では、諸表簿も閲覧しています。どの学校でも適切に諸表簿が作成されていました。特に、以下のような工夫がされている学校もありましたのでご紹介します。

- 通知綴りに関しては、ほとんどの学校で通知等がインデックスと目次で管理されていました。周知方法も明記されていました。（右写真参照）
- 自動車の車検や運転免許証、保険の有効期限を原本で確認し一覧表にまとめ、更新を確認している学校がありました。さらに、更新を確実に確認するために、更新日をカレンダーにする学校もありました。

